

十二月定例岡山県議会は四日に開会し、二十二日まで、十九日間の日程で開かれました。日本共産党県議団は、森脇ひさき県議と赤坂てる子県議が一般質問、武田英夫県議が討論に立ちました。詳細はホームページをご覧ください。



## 県独自の負担軽減策で障害者福祉を守れ

### 森脇ひさき県議が一般質問

森脇県議は、先の九月議会における、「今年四月からの障害者自立支援法の施行によってどんな事態が起こっているか調査せよ」という質問に対し、保健福祉部長が「実態調査をする」と答弁した経過に触れ、その調査の内容と方法、結果を示すよう求めました。

保健福祉部長は、県が十一月に、県内全ての身体、知的障害者および障害児施設を対象に調査を実施し、経済的負担を理由にサービスを中止した障害者が、入所、通所を合わせて二十八人にのぼることが明らかになったと答弁しました。

森脇県議はさらに、応益負担の中止を国に求めること、また負担軽減のための県制度を導入するよう石井正弘知

事に問いました。  
これに対して知事は「(応益負担は)公平な仕組み」「枠組みの変更を国に求めることは考えていない」と答弁。これに対し、森脇県議は再質問で「県の調査でも深刻な実態が明らかになった。ノーライゼーションは障害者も同年齢の人と同等の権利を有するという考え方で、いろんな制度が利用できるこそ人間らしく暮らせ、自立ができるということだ。制度の利用にお金が必要なことこそ不公平なもの」「国に対して間違いを指摘していただきたい」と重ねて追及しました。

森脇県議は、安倍首相の教育論に関連して、来年度から実施予定の一斉学力テストについて質しました。既に実施している東京都では学校ごとの成績が公表されているが、一斉テストでよい成績をとるために授業時間を増やすなど学校間競争が激しくなり、先生にも大きな負担と



## 倉敷チボリ「新たな税金投入計画」の撤回を

### 赤坂てる子県議が一般質問

赤坂てる子県議は、行き詰まる倉敷チボリ(レジャーランド)問題で、石井正弘知事に問いました。

赤坂県議は、石井知事が五年前の県議会で、チボリへの五年間で三十五億円の税金投入を提案した際、「チボリは五年後には補助金なしで単年度黒字化」とすると明言していたことについて質問。「今年も入場者数が前年度割れることが確定で、売り上げは昨年比二割減となるなど、破綻は明らか」とのべ、知事の責任についての明確な答弁を求めました。

地元紙山陽新聞の県民アンケートで、チボリについて県民・市民公園化への支持は一四・九%しかなく、「県費投入は一切やめ、完全民間化すべき」が二九・一%、「再建の見通しがなければ閉園するべき」が二六・五%だったことを指摘。「六割近い県民が税金投入に反対している」と述べ、新たな「税金投入計画」の撤回を求めました。

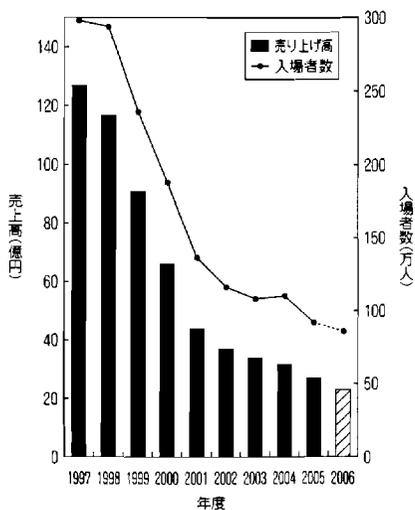
年ごとに激減するチボリの入園者数と売上高のグラフを示し「累積赤

字は百十三億円になっている」と追える赤坂県議に、石井知事は「補助金なしの黒字化は難しいと認識している」「生やさしくないとより、大変厳しい」と答弁しました。

赤坂県議は、障害をもつ児童生徒数の増加によって、市立倉敷養護学校しかない倉敷市において受け入れが限界に達している問題を取り上げ、①養護学校の設置は県の仕事であり、倉敷市に新しい県立養護学校を設置すること、そして、②新設校ができるまでの間、倉敷市内の児童生徒を新設される県立岡山南養護学校をはじめ近隣の県立養護学校へ受け入れるよう求めました。

県教育長は、知的障害養護学校について「全体的な視野に立って教育体制整備の在り方について検討することとしている。また、倉敷市内の児童生徒の受入については、近隣の県立養護学校の施設状況等も踏まえ協議してまいりたい」と答えました。

チボリ 売上高と入場者数推移



### 赤坂てる子県議の質問項目

- ①医療・福祉について
  - ①「事務事業の総点検」について
  - ②単県医療費公費負担制度の心身障害者医療費公費負担制度について
  - ③障害を持つ子どもたちの問題
    - (1)応益負担の問題について
    - (2)倉敷市に養護学校の新設を
    - (3)過級指導教室について
- ②地域農業を守り食料自給率の向上を
  - 市街化区域の農業支援について
- ③「食の安全・安心の確保及び食育の推進に関する条例」について
- ④大型店問題
  - ①倉敷イオンの問題
  - ②住宅地での大型店の24時間営業について
- ⑤「水島港湾湾計画の改訂」に伴う水島港内公有水面埋め立てに関連して
- ⑥チボリ問題

### 森脇ひさき県議の質問項目

- ①障害者・高齢者福祉
  - ①障害者自立支援法と単県医療費公費負担制度
  - ②介護保険制度
- ②若者の雇用
  - 正規雇用の拡大、偽装請負など違法行為を正せ
- ③街づくり
  - 商店街の振興とバリアフリー
- ④御津虎倉地区を県立自然公園に
- ⑤農業問題
  - ①足守川のパイプライン化事業
  - ②地産地消で中山間地農業の振興を
- ⑥安倍首相の教育論について

なり、子どもたちのストレスに拍車をかけている深刻な実態を紹介。「このようなテストは実施しないことを望みますが、実施する場合でも、学校の序列化につながるような結果の公表はするべきでない」と追及しました。教育長は「県教育委員会としては、学校ごとの結果の公表を行うことは考えていない」と答弁しました。

日本共産党  
**岡山県議会報告**

2007年1月 No.15 FAX(086)231-2187  
日本共産党岡山県議会議員団 ☎(086)224-2111(内線 4056)  
〒700-8570 岡山市内山下2丁目4-6 岡山県議会内  
ホームページ <http://www.jcp-okayama-kengidan.jp>  
E-mail : [kyosan@pref.okayama.jp](mailto:kyosan@pref.okayama.jp)



# 「道州制」導入が前提の「新夢づくりプラン」には反対

## 武田英夫県議が討論

武田県議はまず、「新おかやま夢づくりプラン策定について」の議案について、「道州制の導入と中四国州の実現」の部分を除けばほとんど目新しい内容はないが、道州制の問題は、そのデメリットも含めた冷静な議論が必要だという立場から、反対を表明しました。

今年の十月から単県医療費公費負担制度の心身障害者医療費公費負担制度の見直しを実施されたことに対しNPO岡山県腎臓病協議会が提出した請願について、武田県議は一例として、国の障害者自立支援法では「世帯」の考

え方を「保険別」としているにもかかわらず、県制度では「住民票」として負担を増やすような仕組みをわざわざつくっていることを指摘し、今からでもこの「単県医療費公費負担制度」を元に戻すべきだとの立場から、この請願の採択を求めました。

また、県庁職員の県独自の給与カット

ト延長問題について、県人事委員会が「この措置はあくまで特例措置であって、恒常化するようであれば職員の仕事や生活に及ぼす影響は極めて大きいものとなるばかりでなく人材確保への影響なども懸念される」とし、「減額措置の解消に向けた不断の努力がなされることを期待し、諸事情が整い次第勧告に基づく本来の職員の給与水準が確保されることを切望する」と指摘していることを紹介し、この条例に反対を表明しました。

武田県議は、教育条件の整備を求め、また私学助成の大幅増を求めて提出された請願が不採択にされようとしていることに対し、国と地方の行政が本来やるべきことは、少人数学級の実現や経済的理由で学校を中退せざるを得ない事態の解消など教育条件の整備であることを強調し、これらの請願を採択するよう求めました。



### 活動日誌

11月1日  
10月からの負担増問題で、県に申し入れ(写真・上)

11月17日  
2007年度予算編成にあたり県に要求書を提出(写真・下)

11月24日  
JR津山線事故にあたり、県に申し入れ(写真・中)

## 謹賀新年



県書記長  
植本かんじ



元衆議院議員  
春名なおあき

参議院議員 仁比 そうへい

元衆議院議員 中林 よし子

県議会議員 武田 英夫  
同 森 脇 英夫  
同 赤 坂 英夫

### 制度解説

参議院選挙の投票方法  
「比例代表は、『日本共産党』と政党名で(比例代表は政党名でも個人名でも投票できます)」

### 2007年1～3月の議会日程(予定)

#### 委員会の積極的な視聴を

日	委員会	時間	出席者
1月15日(月)	各常任委員会	10時30分～	全員
1月25日(木)	各常任委員会	10時30分～	全員
1月26日(金)	決算特別委員会	10時30分～	武田
	地域振興特別委員会	13時～	
	環境・危機管理対策特別委員会	13時～	
	次世代育成・男女共同参画特別委員会	10時30分～	森脇
2月2日(金)	行財政改革等特別委員会	10時30分～	赤坂
	各常任委員会	10時30分～	全員
	各常任委員会	10時30分～	全員
	決算特別委員会	10時30分～	武田
2月15日(木)	地域振興特別委員会	13時～	
	環境・危機管理対策特別委員会	13時～	
	次世代育成・男女共同参画特別委員会	10時30分～	森脇
	行財政改革等特別委員会	10時30分～	赤坂
2月19日(月)	議会運営委員会	10時30分～	武田
2月22日(木)	各常任委員会	10時30分～	全員

2月定例会議会は、2月26日開会、3月19日開会の予定。代表質問は2・3日、一般質問は6・7・8・9日の予定。日本共産党からは、武田英夫県議が一般質問、赤坂てる子県議が討論に立つ予定です。なお、請願・陳情の受付締め切りは2月27日です。

### 政務調査費・費用弁償の見直しを

武田県議は討論のなかで、現在、マスコミをはじめ国民世論が議会と議員自身の税金の使い方に關して厳しい視線を向けており、岡山県議会も早急に見直すよう求めました。議員歳費、政務調査費、旅費など議員の活動は県民の税金で保障されており、議員が自らの問題に厳格でなくして、県民の税金の使い方をチェックすべき県議会の責任を果たすことは出来ないというのが日本共産党の立場です。党県議団は、この立場から①政務調査費は領収書も含めて公表する、②旅費などの問題も県民の目線から見直す、③出張旅費(費用弁償)問題についても廃止か実費支給の方向で見直すよう、他の会派に議論を呼びかけてきました。

### 主な議案の結果

【議案】	共産	自民	民進	公明	結果
新おかやま夢づくりプランの策定について	×	○	○	○	○
岡山県立美術館、岡山県自然保護センター、岡山県立博物館、岡山県生涯学習センター、岡山県立図書館の指定管理者の指定について	×	○	○	○	○
知事等及び職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例(県庁職員の県独自の給与カット延長など)	×	○	○	○	○

※ ○賛成、×反対

12月定例会議には、議案35件と議員発議4件が提出されました。日本共産党は、10議案に反対、残りの議案に賛成しました。他の会派は全ての議案に賛成しました。

【請願・陳情】	共産	自民	民進	公明	結果
私学助成の拡充を求める(岡山県私学助成をすすめる会)(高校・障害児教育をよくする岡山県民の会)	○	×	○	○	×
岡山県心身障害者医療費公費負担制度改正の全面撤回を求めることについて(NPO岡山県腎臓病協議会)	○	×	△	○	×
※民進は、紹介議員になりながら、委員会では「継続」の態度をとりました。最終的な態度は「採択」。					
国の療養病床廃止・削減計画の中止を求める意見書採択等を求めることについて(岡山県保険医協会)	○	×	△	△	×
平成19年度建設関係予算確保等について(岡山県建設業協会)	×	○	○	○	○
国の責任で30人学級を実現することを求めることについて(高校・障害児教育をよくする岡山県民の会)	○	×	○	○	×

※ ○採択、×不採択、△継続